

『凧、飛ばない』 4歳児1月 ひまわり組 富雄南こども園



エピソード

冬休みにおうちで凧揚げをした子もおり、園でもやってみようという思いから、凧をつくりました。最初は友達と走って凧を上げようとしていました。「凧が飛ばない」と友達と交代しながらやってみますが、うまくいきませんでした。保育者と一緒にどうやったら凧があがるかを試してみることにしました。「園庭を走る」「坂の上から走る」と、築山の上に立つと風が吹き、凧が上がりました。「先生、見て」と嬉しそうに話し、保育者も「風が吹いたら凧は上がるんだね」と一緒に喜びました。子ども達は「ここめっちゃ風くるから(凧)飛ぶで」と友達に知らせていました。それからは風が吹いている方向を感じながら凧を飛ばし、くり返し遊びました。

子どもの育ちや学び

- ・風を受けると凧が飛ぶことを知り、友達にも知らせたり、やって見せたりするなど、友達と情報を共有していく。
- ・うまくいかないことを「なぜ」と疑問に感じ、考えてみようとする。

保育者の思い

- ・うまくいかないことも友達や保育者と一緒に考えてみてほしい。
- ・凧を飛ばしたい気持ちを友達と共有し、一緒に楽しんでほしい。
- ・いろいろと試しながら遊びを進める中で、あきらめない力、考える力が育ってほしい。

家庭だったら・・・

- ・季節の行事をお家の方もお子さんと同じ目線で一緒に遊びを楽しんでみてはどうでしょう。お子さんと思いを共有してみたいかがででしょうか。
- ・お子さんの不思議と感じることを一緒に話し合ってみるのもいいかもしれないですね。